

(5) 価値観と将来展望
①環境問題に対する意識

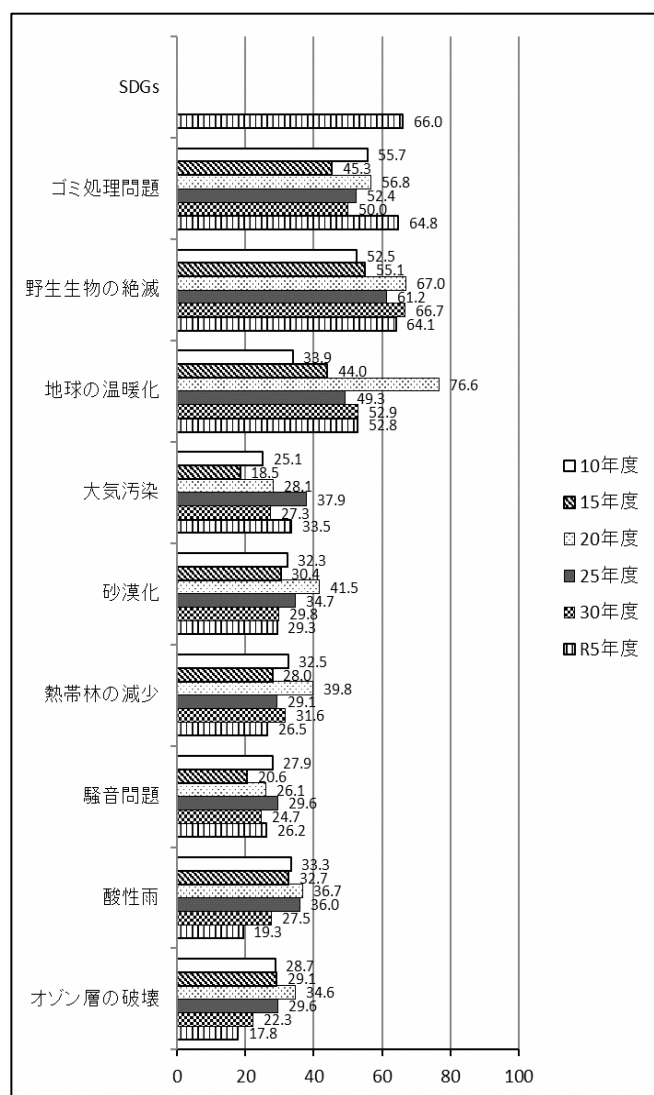
(46) 次の A～I のことを知っていますか。

(くわしく知っている、知っている、きいたことはあるがよく知らない、知らないから選択)

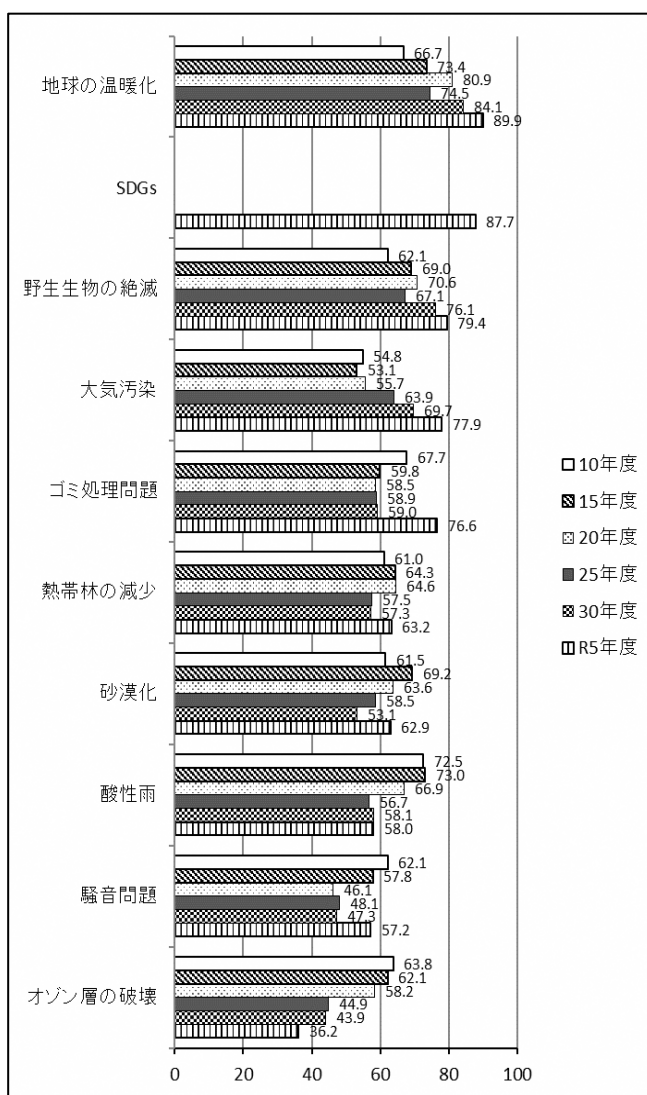
- | | | |
|-----------|-----------|----------|
| A 地球の温暖化 | D 熱帯林の減少 | G ゴミ処理問題 |
| B オゾン層の破壊 | E 酸性雨 | H 大気汚染 |
| C 砂漠化 | F 野生生物の絶滅 | I 騒音問題 |
| | | J SDGs |

※ J は令和 5 年度より追加

(46) 環境問題に対する意識 (小学生)
(くわしく知っている+知っている)



(46) 環境問題に対する意識 (中学生)
(くわしく知っている+知っている)



<令和 5 年度の結果>

中学生の方が環境問題に関する認知が高い。小学生では今回の令和 5 年度調査から加わった「SDGs」への認知が 6 割半ばと 1 番高かった。中学生では、「地球温暖化」に対する認知が 9 割弱と最も高かった。 (*)

<平成 10 年度から令和 5 年度を通しての変化>

小学生、中学生ともに「オゾン層の破壊」「酸性雨」に関する認知が低くなっている。

(47) 次の A～D のようなことをしていますか。

(必ずしている、している、どちらかといえばしている、していない、まったくしていないから選択)

A ゴミは分別して捨てる

C 必要以外の水を流さない

B ノート、消しゴムを最後まで使う

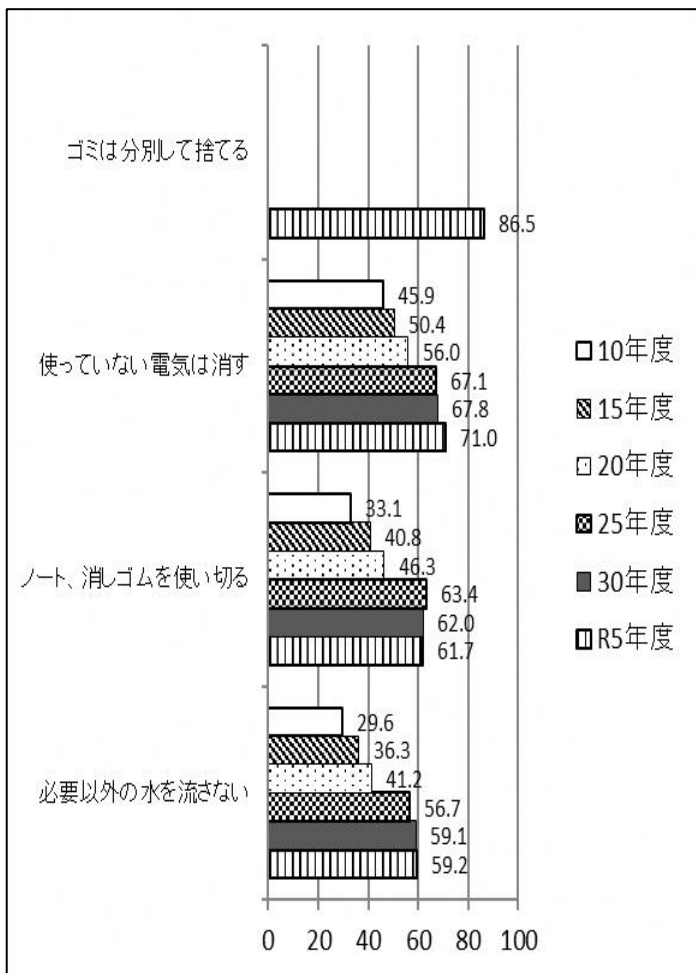
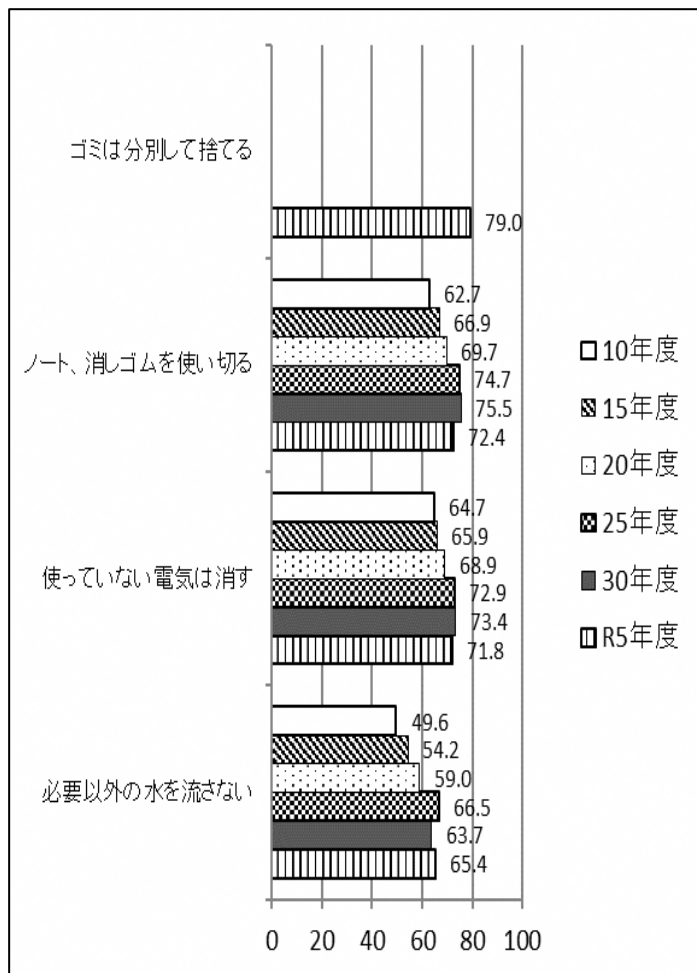
D 使っていない電気は消す

(47) 次のことをしているか (小学生)

〈必ずしている＋している〉

(47) 次のことをしているか (中学生)

〈必ずしている＋している〉



<令和5年度の結果>

「ゴミはゴミ箱に捨てる」「缶やビンをリサイクルする」を令和5年度から「ゴミは分別して捨てる」に変更した。小学生、中学生ともに「ゴミは分別して捨てる」が最多であった。

<平成10年度から令和5年度を通しての変化>

小学生は「必要以外の水を流さない」が、中学生は「使っていない電気を消す」の回答が増加傾向にある。

②染髪・ピアス等への価値観

(48) あなたが、次のことをしてもいいと思う（したいと思う）のは、いつ頃ですか。

（小学校高学年、中学生、高校生、大人、そうしてはいけない（したいと思わない）から選択）

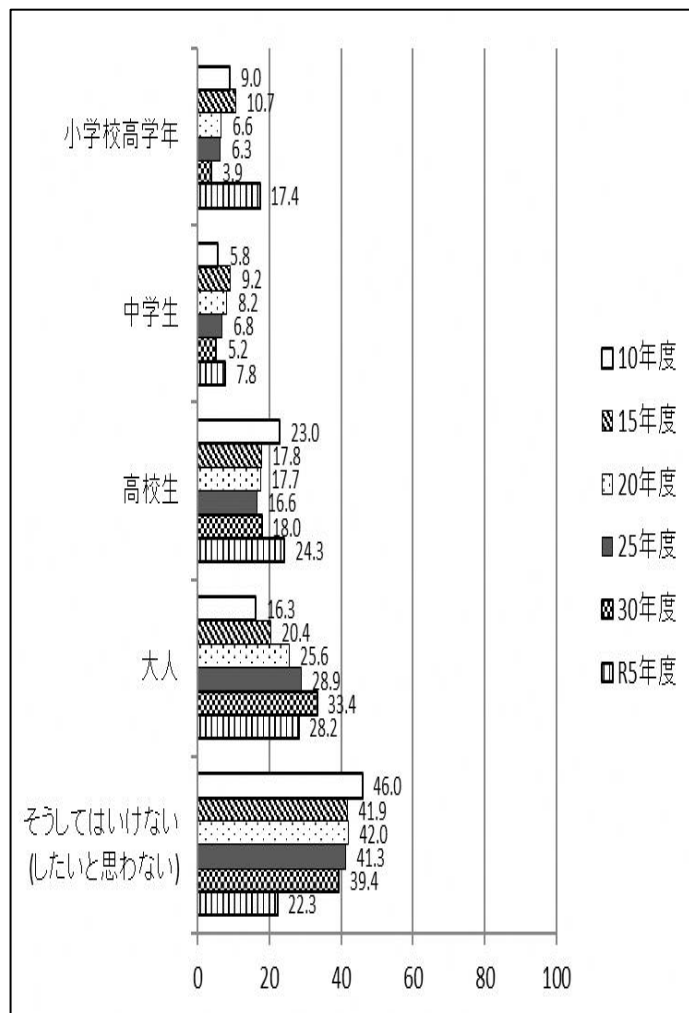
A 髪を染める

C 化粧をする

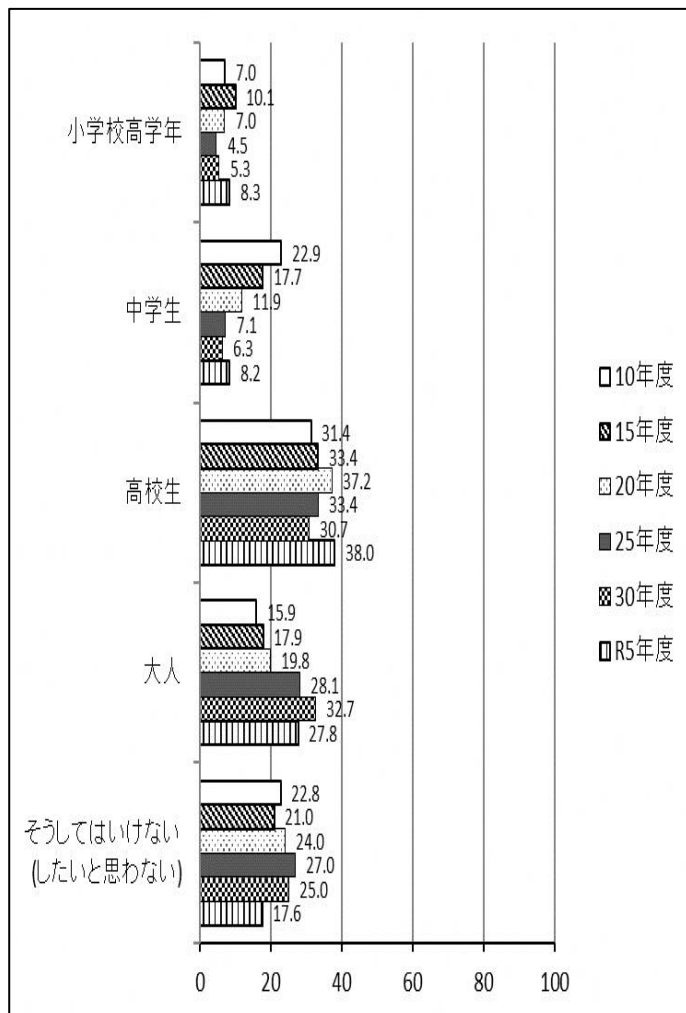
B ピアスをする

D スマートフォン・携帯電話を持つ

(48) A 髪を染める（小学生）



(48) A 髪を染める（中学生）



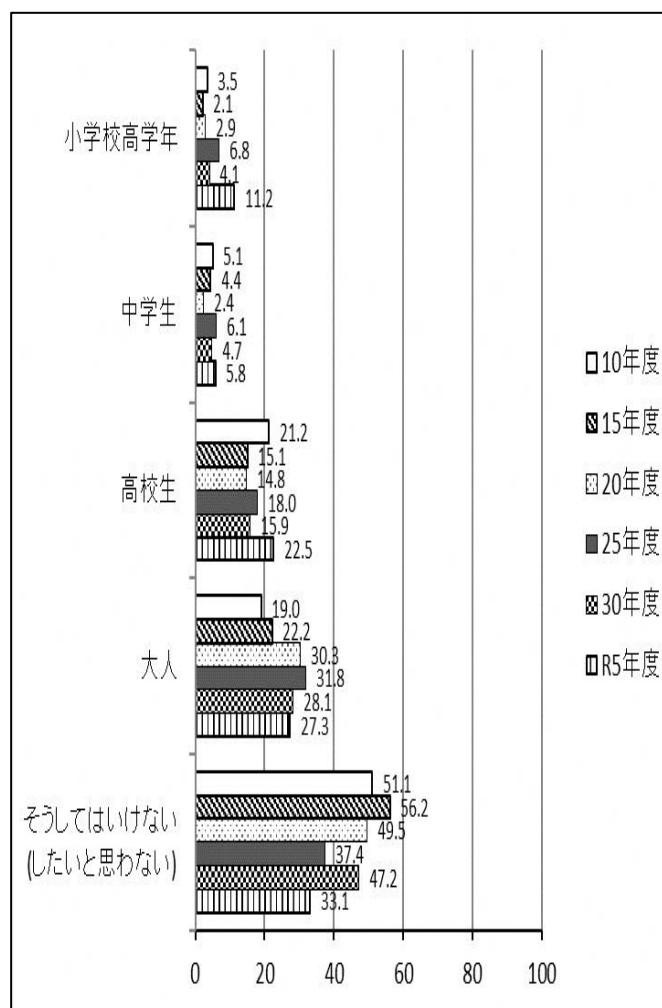
<令和5年度の結果>

髪を染めることに関して、小学生は「大人」になってからしてもいいという意見が3割弱で最多だった。中学生は「高校生」でしてもいいという意見が4割弱で最多だった。

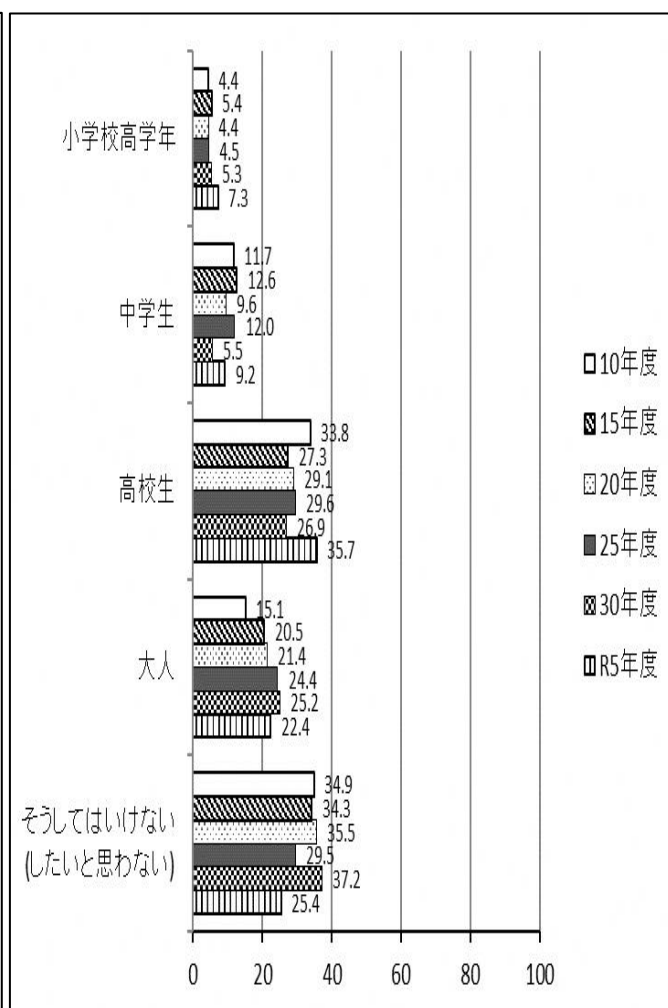
<平成10年度から令和5年度を通しての変化>

小学生において「そうしてはいけない（したいと思わない）」の回答は2割弱減少している。

(48) B ピアスをする（小学生）



(48) B ピアスをする（中学生）



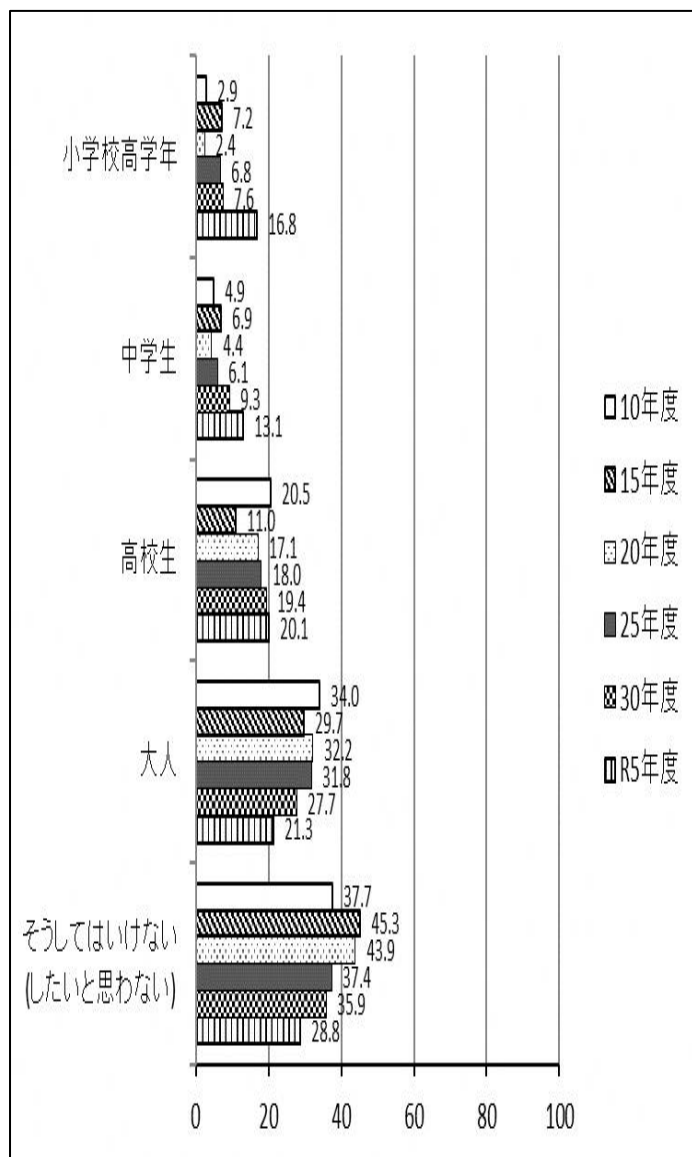
＜令和 5 年度の結果＞

小学生、中学生ともに「小学生高学年」「中学生」「高校生」でピアスをしてもいいという回答が増加した。小学生は「大人」中学生は「高校生」でピアスをしてもいいという回答が最多であった。

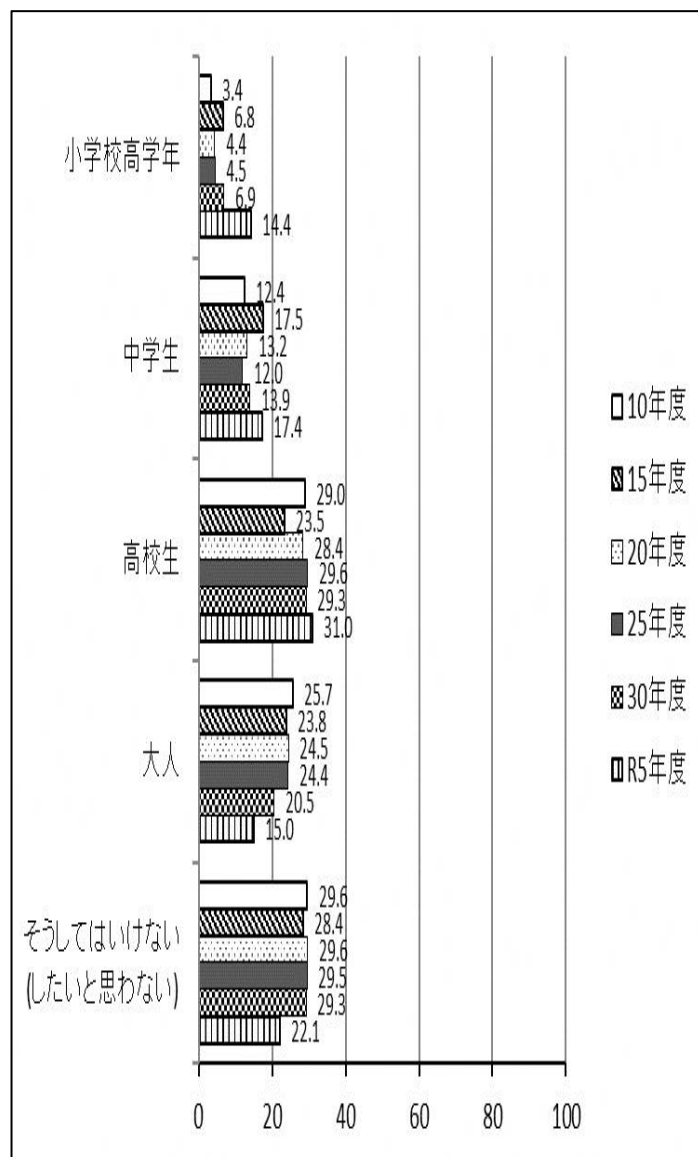
＜平成 1 0 年度から令和 5 年度を通しての変化＞

「そうしてはいけない（したいと思わない）」の回答が平成 1 0 年度と比較すると、小学生では 2 割弱、中学生では 1 割弱減少している。（*）

(48) C 化粧をする（小学生）



(48) C 化粧をする（中学生）



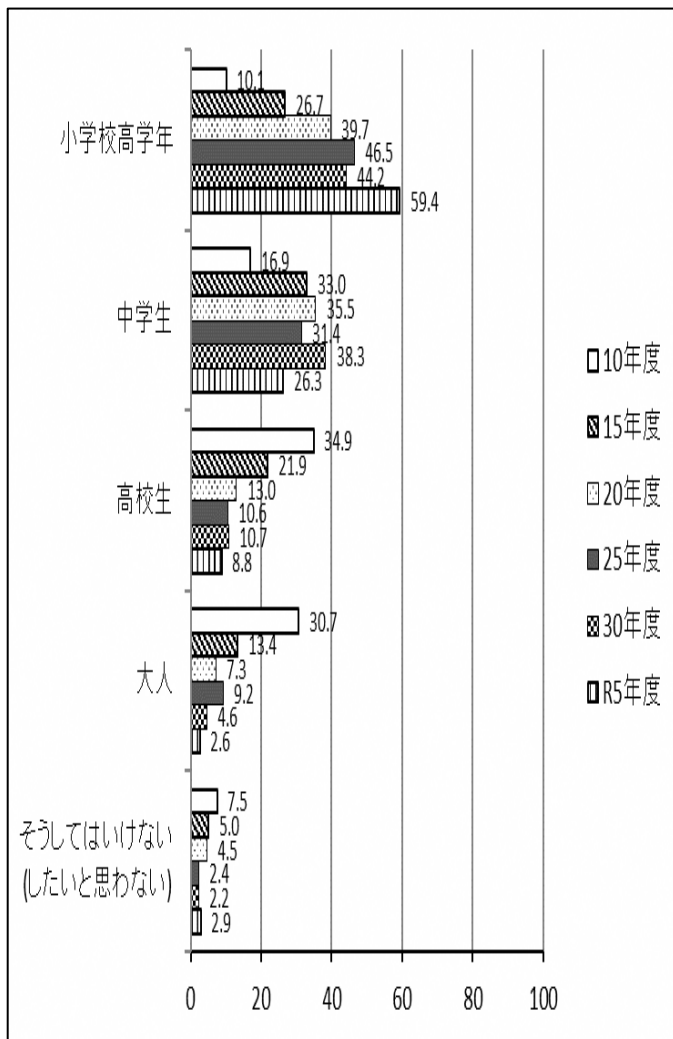
＜令和5年度の結果＞

小学生、中学生ともに「大人」の回答が減少した。「小学生高学年」「中学生」「高校生」が増加した。

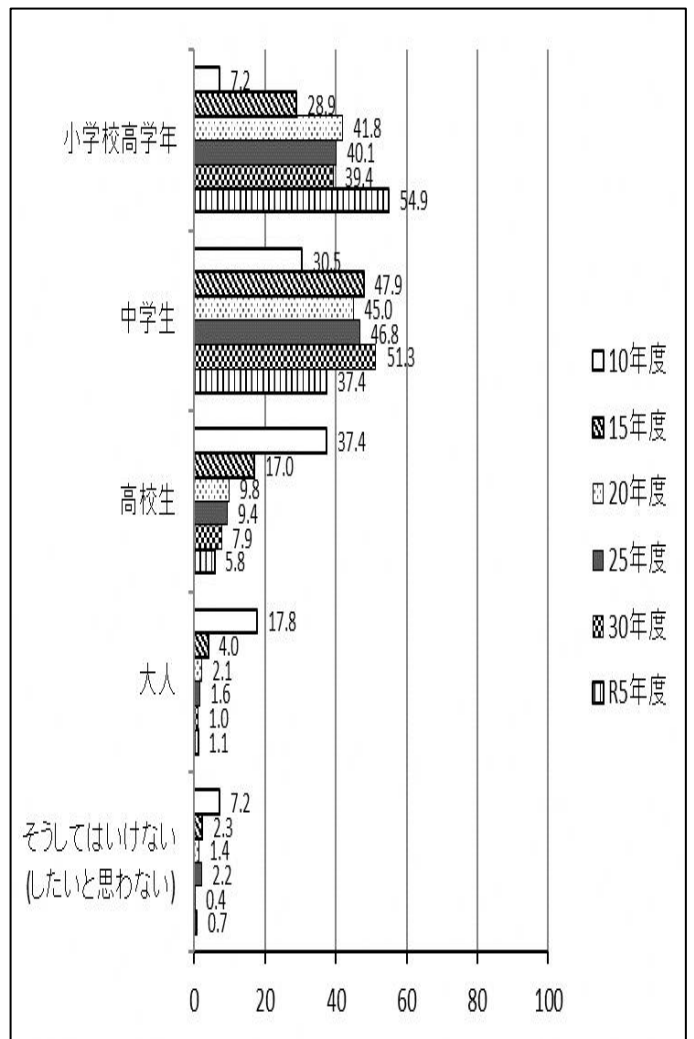
＜平成10年度から令和5年度を通しての変化＞

小学生、中学生ともに「大人」の回答が減少傾向。(*)化粧をしてもいいと考える年代が低年齢化している。

(48) D スマートフォン・携帯電話を持つ
(小学生)



(48) D スマートフォン・携帯電話を持つ
(中学生)



＜令和５年度の結果＞

小学生、中学生ともにスマートフォン・携帯電話を持っていいと考えるのは、「小学校高学年」が最多だった。

＜平成１０年度から令和５年度を通しての変化＞

小学生、中学生ともに「大人」の回答が減少傾向。スマートフォン・携帯電話を持ってもいいと考える年代が低年齢化している。 (*)

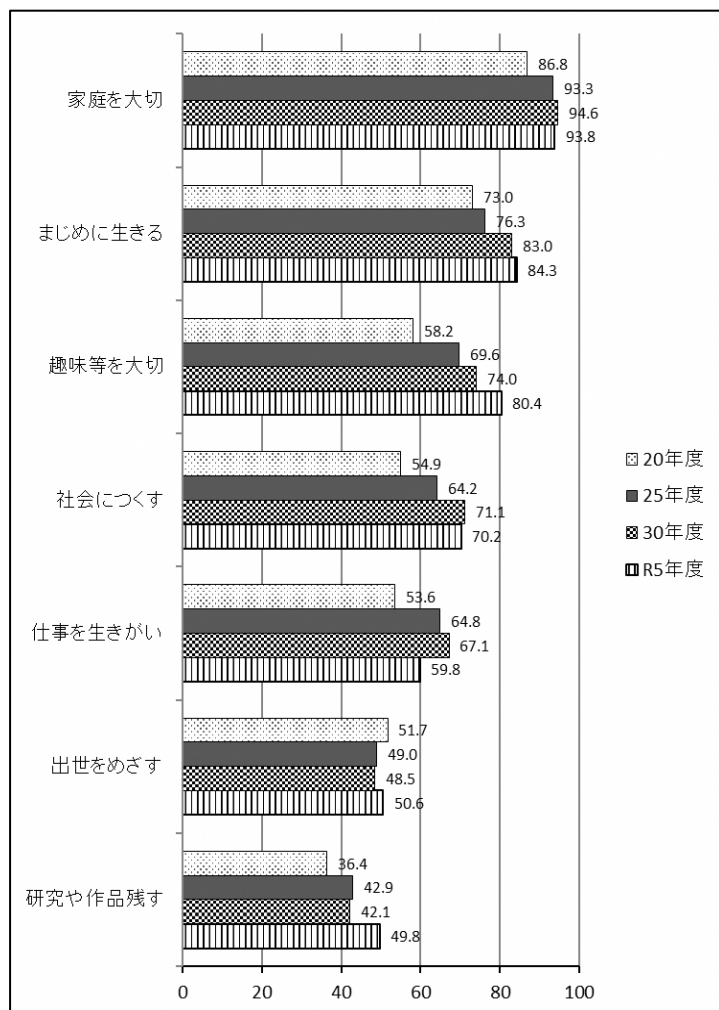
③ 将来について

(56) どんな生き方をする大人になりたいですか。A～Gのそれぞれについて教えてください。
(とてもなりたい、なりたい、どちらともいえない、なりたくない、まったくなりたくないから選択)

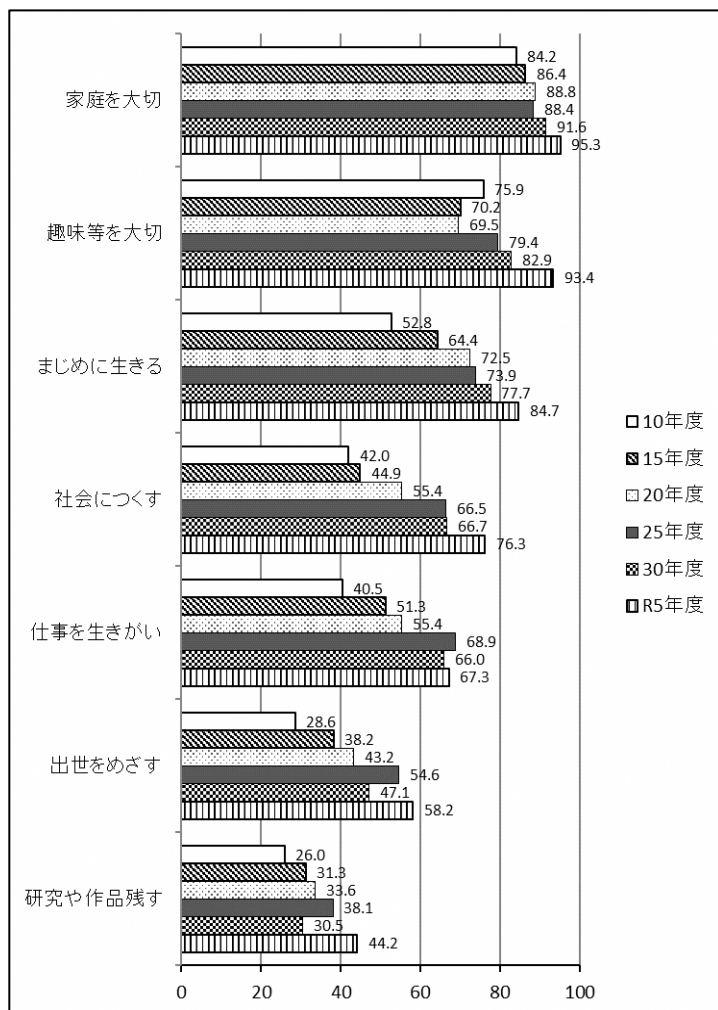
- A 仕事を生きがいにする人
- B 出世をめざす人
- C 家庭や家族を大切にする人
- D 仕事以外に趣味やレジャー等も大切にする人
- E 社会や人々のためにつくそうとする人
- F 学問や芸術で、よい研究や作品を残そうとする人
- G 努力してまじめに生きようとする人

※小学生は平成20年度から実施

(56) どんな生き方の大人になりたいか（小学生）
くとてもなりたい＋なりたい



(56) どんな生き方の大人になりたいか（中学生）
くとてもなりたい＋なりたい



<令和5年度の結果>

小学生、中学生ともに「家庭を大切にする大人になりたい」という回答が最多であった。次いで「まじめに生きる大人になりたい」「趣味等を大切にする大人になりたい」等が上位であった。「研究や作品を残す大人になりたい」が増加している。

<平成10年度から令和5年度を通しての変化>

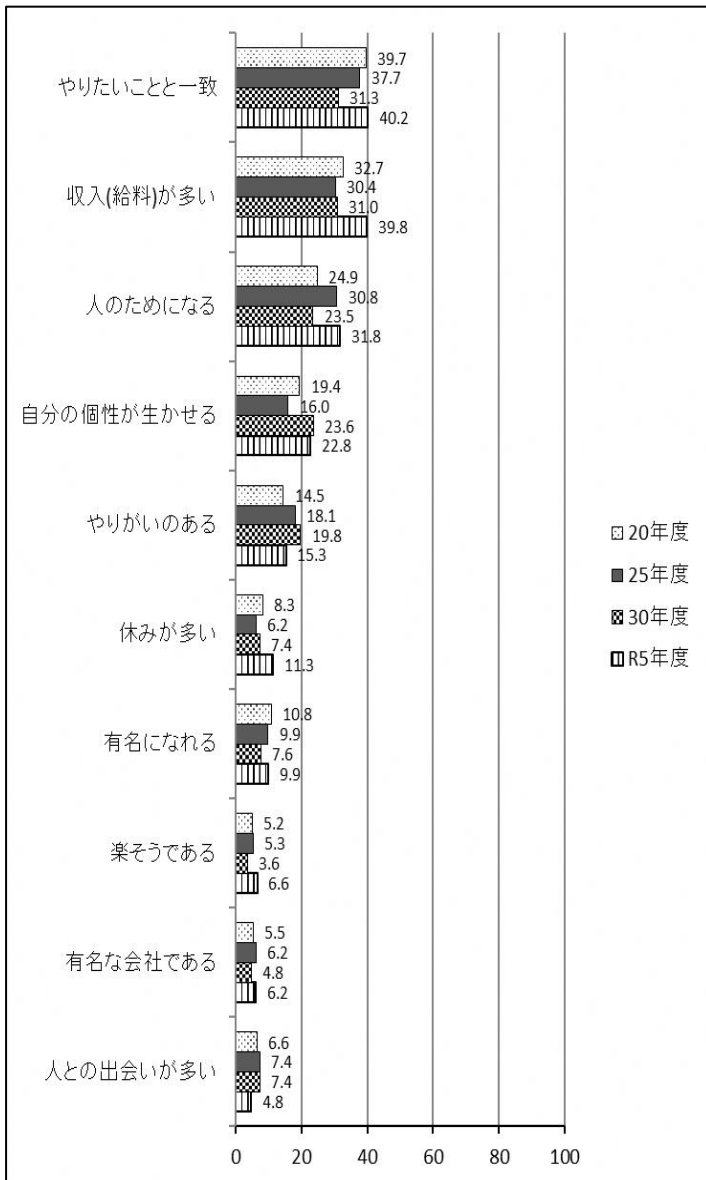
小学生、中学生ともに「家庭を大切にする大人になりたい」「まじめに生きる大人になりたい」「研究や作品を残す大人になりたい」という回答が増加傾向にある。

(57) 職業を選ぶときには、どのような理由で選ぶと思いますか。（２つまで）

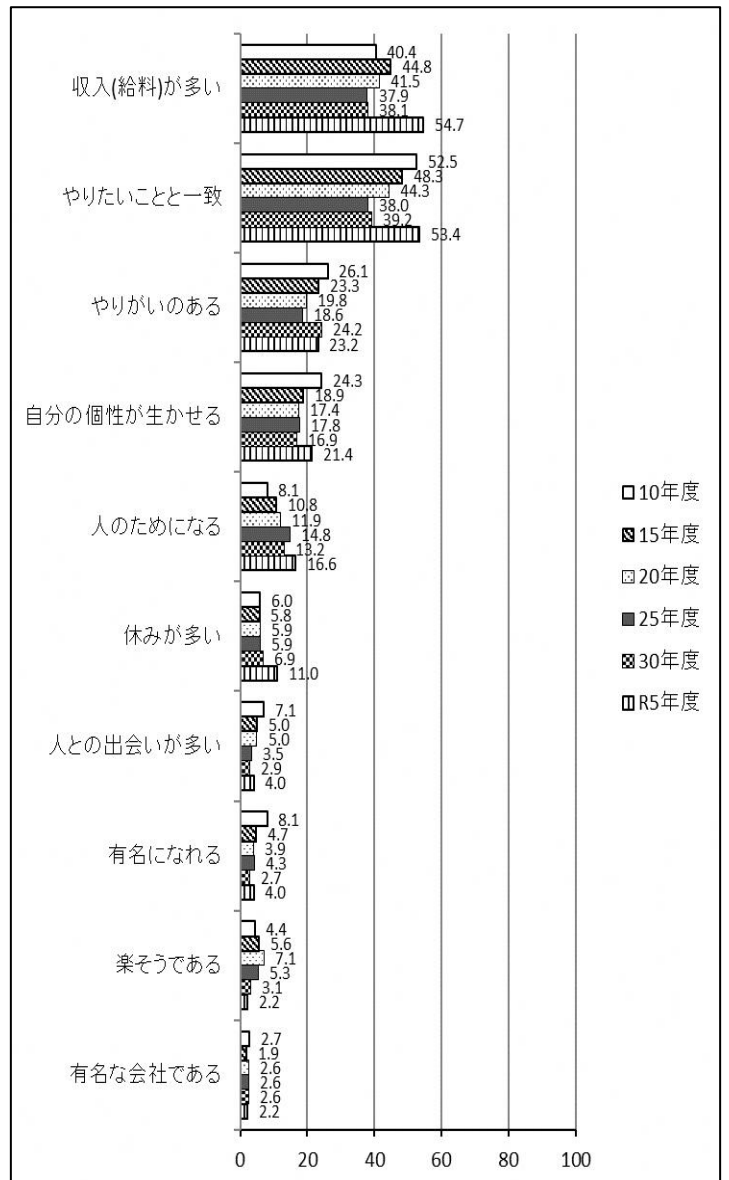
1. 収入（給料）が多い
2. 楽そうである
3. 有名な会社である
4. 自分のやりたいことと一致している
5. 休み（休日）が多い
6. 人のためになる
7. やりがいがある
8. 人との出会いが多い
9. 自分の個性が生かせる
10. 有名になれる

※小学生は平成20年度から実施

(57) 職業を選ぶ理由（小学生）



(57) 職業を選ぶ理由（中学生）



<令和5年度の結果>

小学生、中学生ともに「やりたいことと一致」「収入が多い」が多い回答となった。

<平成10年度から令和5年度を通しての変化>

平成30年度までは全体的に減少傾向だったものの、令和5年度には「やりたいことと一致」「収入が多い」という回答が増加に転じている。